

平成31年1月1日

平成30年10月25日亙理（営）、11月5日に本社（営）がNASVAによる内部監査を受けそれに基づき12月21日会議を開催、下記の事項を31年度社員一丸となって取り組む。

平成31年度運輸安全マネジメントの取り組みについて

株式会社 タケヤ交通

基本理念

社長及び経営トップは、関係法令の遵守と輸送の安全確保を最優先に、高品質なサービス提供と快適な輸送環境を築くことにより、公共交通機関として地域社会に貢献する企業活動の実践と輸送の安全性のさらなる向上に努め、社会責任を果たすことを基本方針とします。

1、輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 適切な社内教育により安全な運行と快適な移動環境の提供に努めます。
- (2) 安全マネジメントを毎事業年度ごとに策定し、「計画の策定・実行・チェック・改善」(PDCA)を確実に実行し、輸送の安全の確保に努めます。
- (3) 運輸関連法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- (4) 全従業員に対して基本理念、方針を周知徹底し、輸送の安全確保の意義と重要性を認識させます。
- (5) 常にお客様、乗務員の声を大事にして行きます。
- (6) この安全方針は社内外に公表します。

2、平成31年度の目標

(1) 事故防止目標

- ① 30年は人身、重大事故0件、物損事故6件と前年50%を達成。今期も人身、重大事故、0件、物損事故50%減を目指します。
- ② 厳正な点呼の実施による飲酒・酒気帯び運転の撲滅
- ③ 乗務員の健康に十分注意を払います。
- ④ 現場の声を重視します。

(2) 目標達成の為の重点政策

- ① 輸送の安全に関し、本年も自動車事故対策機構とコンサルティング契約を結び、その予算600千円を組み、無事故に対する意識を高揚させ、より具体的な訓練を実施し、非常時に備えます。

- ②事故惹起者、高齢者に適性診断を受講させその結果の基づく指導を行います。又、毎月予定している乗務員講習時に、ヒヤリ・ハット情報を収集し、事故回避を図ります。
- ③30年に引続き乗務員に脳ドック、睡眠時無呼吸症候群の検査、ストレスチェック診断、冬季にインフルエンザ予防接種を全員に受けさせ、その為の1,500千円組みます。又、血圧を簡単に計測できるリストバンドの導入を計画、予算100千円組みます。それにより体調管理をタイムリーに把握出来るようにします。
- ④地元の消防署と連携を組み、救命救急講習を受講し緊急の時に対応できるようにします。
- ⑤定期点検整備と日常点検の確実な実施、車両の正しい取扱いと運転操作に十分に留意し、燃料・油脂・タイヤの消費の節約を図るとともに、部品材料の寿命の延長を心がけ、常に事業の経済性を認識します。
- ⑥社長および経営トップは、お客様・乗務員との対話を積極的に行います。
- ⑦「春の全国交通安全運動」、「秋の全国交通安全運動」、「年末年始輸送の安全総点検」にあわせて事故防止運動を重点的に展開し、輸送の安全に努めます。

3、安全管理規定

当社の安全管理規定は別紙の通りです。

4、輸送の安全に係る情報の伝達体制

別紙、安全管理組織図と、非常時連絡体制を参照して下さい。

5、輸送の安全に関する乗務員教育の計画

別紙、教育計画をご覧下さい。

6、輸送の安全に関する内部監査計画

安全管理規定第15条に基づき平成30年11月に内部監査を実施、それに基づき12月に次年度の取組みを作成いたします。

参考資料：事故に関する統計

平成30年

参考資料 【事故に関する統計】

事故の内容		件数
人身事故	有責事故	0
	他責事故	0
	計	0
重大事故	有責事故	0
	他責事故	0
	計	0
物損事故	有責事故	0
	他責事故	0
	計	0
軽微事故	有責事故	6
	他責事故	0
	計	6
有責事故 計		6
他責事故 計		0
事故件数 計		6

平成29年

参考資料 【事故に関する統計】

事故の内容		件数
人身事故	有責事故	0
	他責事故	0
	計	0
重大事故	有責事故	1
	他責事故	0
	計	1
物損事故	有責事故	4
	他責事故	0
	計	4
軽微事故	有責事故	9
	他責事故	0
	計	9
有責事故 計		14
他責事故 計		0
事故件数 計		14

※三陸道タイヤパンク事故